

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	教育委員会 生涯学習課
所在地	上野原市桐原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	上野原市		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中で、集団宿泊生活を通して自律、責任、協力、友愛、奉仕等の尊さを体験的に学習させ、ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年を育成すること。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約33,000㎡ ○延床面積 約 2,016㎡ ○施設の内容 《本館棟》(847.133㎡) ・ラウンジ・食堂・多目的ホール・事務室 《一般宿泊棟》(491.400㎡) ・3棟[寝室4室、広間、リーダー室、トイレ、洗面所、定員26人/1棟] 《家族・身障者棟》(414.993㎡) ・家族宿泊室:4室[4人用] ・身障者宿泊室・リーダー室 ・浴室 ・身障者用浴室 《その他》 ・屋外炊事場棟(43㎡):調理台×4、流し×8、かまど×6 ・キャビン棟:ミーティングルーム ・キャンプ場:キャンプ場トイレ		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)地域における生活文化の経験学習に関する業務 (5)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (6)野外活動及びレクリエーションに関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	上野原市立地域交流館 山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	宿泊利用者数	7,917	7,070	2,343	4,700
	キャンプ場利用者数	853	1,145	355	700
	日帰り利用者数	2,899	3,195	1,820	2,500
	利用者数合計	11,669	11,410	4,518	7,900
	目標値	12,000	12,000	12,000	7,900
	目標値設定の考え方及びその理由	H30～R2は、施設規模や季節による利用動向の変化から年間利用者数については12,000人を適正な目標数と考え、設定。 R3は、新型コロナウイルス感染症対策の影響がほとんどなかったR1年度と新型コロナウイルス感染症対策の影響があったR2年度の平均で設定。			
対平成30年度比		97.8%	38.7%	67.7%	
利用率	69.3%	64.8%	31.0%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	33,439,000	33,503,000	32,729,000	33,352,000
	その他				
	収入合計(A)	33,439,000	33,503,000	32,729,000	33,352,000
支出	人件費	18,886,599	14,306,000	19,031,334	17,712,000
	県への納付金				
	管理運営費	16,852,785	19,197,000	18,550,809	15,640,000
	うち外部委託費(B)	5,871,443	9,379,000	9,269,497	6,074,000
	支出合計(C)	35,739,384	33,503,000	37,582,143	33,352,000
収支差額(A-C)		△ 2,300,384		△ 4,853,143	
外部委託比率(B÷C)		16.4%	28.0%	24.7%	18.2%
利用者一人当たりの経費		2,930.7	2,791.9	7,244.1	4,221.8

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和2年6月～令和3年3月 実施方法: 県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート 回答数: 15団体
--------------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設までのアクセス	60.0%	33.3%	6.7%	
申込方法	73.3%	26.7%		
利用料金	93.3%	6.7%		
活動プログラム	93.3%	6.7%		
貸出道具	86.7%	6.7%	6.6%	
宿泊室	80.0%	13.3%	6.7%	
トイレ、浴室、洗面所	80.0%	20.0%		
宿泊棟備品、設備	78.6%	21.4%		
施設の設備	85.7%	14.3%		
施設設備の整備状況	85.7%	14.3%		
活動内容	92.9%	7.1%		
食堂、食事内容、料金等	81.8%	18.2%		
施設全般の満足度	92.9%	7.1%		

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の中だったのでバスを降りてから、施設まで歩いてくるのが少し不安でした。 ・毎年利用させていただきありがとうございます。自然豊かで、せみが羽化する様子もみることができ、心に残る体験ができました。 ・今年もキャンプ場を利用しました。野外炊事を中止したのが残念でした。 ・2日間とても充実していました。ありがとうございました。 ・また、来年も来たいです。小学生の団体なので、色々な所は助かります。 <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方もとても親切でありがたいです。 ・コロナ対策を丁寧にして頂き、ありがとうございました。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策で利用ができない時期がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を県の指導に基づき行い、安心して利用できるよう検討し、対応を確認した。 <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者への聞き取りなどにより満足度や要望調査を行い、次年度の企画に反映させた。企画の実施後はアンケート調査を実施し、更なる改善に努める。

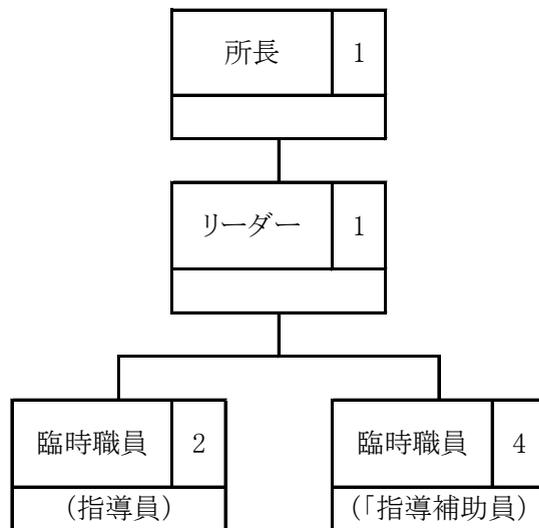
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法定点検やその他施設・設備の保守点検等をマニュアル通り適正に実施した。</p> <p>利用者の利便性・安全のため、外灯の修繕・本館女子トイレ便器改修等を迅速に実施した。</p>	<p>施設・設備の維持管理については、業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に執行されている。</p> <p>経年劣化による修繕が必要な箇所があるが、利用者の安全を第一に考え、迅速に対応することができた。今後も維持管理に努めるよう指導した。</p>
運営業務	<p>保育園、幼稚園、学校等と連携し、利用促進を図った。さらに高校生、大学生ボランティアとの協働により各主催事業を適正かつ円滑に実施した。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき適正に執行されている。アンケート結果から得られる利用者の声を生かし、臨機応変に対応しているため、今後も利便性の向上を図ること。</p>
利用状況	<p>県東部地域を中心に学校や関係機関にPRを行い、積極的に利用を呼びかけている。首都圏に隣接した立地環境もあり、県外利用者が多く、リピーター率も高い。ただ、新型コロナウイルスの影響で4月から5月の間は宿泊できず、多数のキャンセルもあり、利用者数は大幅に減少した。</p> <p>予約方法について宿泊は1組のみから、人数に応じて複数組の予約を可能にしている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用実績は大幅に減少したが、休館や学校利用の自粛によるものであり、やむを得ないものと思われる。</p> <p>今後、新しい生活様式に転換していく中で、施設としてどのように利用者の増加を図るのか、より一層の工夫に期待する。</p>
収支状況	<p>効率的な財政運営に努めており、休館やキャンセルによる支出の変動に対して、経費削減に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス対策と利用者のキャンセル等による指導員等の空いた時間を有効活用し施設・設備の小規模修繕を実施したため、消耗品費が増えた。</p> <p>賃借料のうち、リネン類のリースについては、宿泊利用者の減少のため支出が大きく減少した。</p> <p>委託料のうち、ろ過機及びポンプ点検業務については、一定期間の計画に基づき実施しており、令和2年度は、前年度と比べて作業内容が増加していたため支出の増加となった。</p>	<p>昨年度と比較して、ろ過器及びポンプ点検業務により支出額が増加しているが、それ以外の項目では経費が削減されており、コロナウイルス感染症の影響により支出を免れた部分については、臨機応変に対応した成果だと思われる。</p> <p>利用者へのサービスが低下しないことに留意して、引き続き効率的な財政運営に努めること。</p>
自主事業	<p>児童生徒を対象にした自主事業については、定着しており定員を上回る応募がある。閑散期(秋・冬)の事業についても参加者が延80名を超え、利用者から好評であった。また、一般を対象にした自主事業も実施し、好評を得ている。</p>	<p>閑散期である秋・冬の自主事業に多くの参加があり、魅力的な内容であることがうかがえる。自然環境を生かした自主事業を今後も計画するよう努めること。</p>

<p>利用者満足度</p>	<p>施設全般の満足度で、92.9%の利用者から「満足」、7.1%から「どちらかと言えば満足」との高い評価をいただいた。 食堂、食事内容、料金等については「満足」の評価が81.8%、「どちらかと言えば満足」の評価が18.2%であり、アンケートを通して利用者の要望を集め、業務を行っている東洋食品と相談し、改善に努めた結果、昨年度よりも改善されている。</p>	<p>利用者満足度は、いずれの項目でも高い評価を得ている。 利用者から寄せられる意見や要望には迅速かつ丁寧に対応するとともに、今後の施設運営に生かして、よりきめ細やかなサービスの提供に努めること。特に食堂については、利用者のニーズを把握し、より一層の工夫を期待する。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。 利用の承認にあたっては、事業計画による提案どおり決定した。 新型コロナウイルスの影響で4月から5月の間は休館し、6月2日から再開したが、県をまたぐ団体等の多数のキャンセルもあり、利用者数は大幅に減少した。 自主事業については、参加型イベント11件等を開催した。 新型コロナウイルスの影響により利用者のキャンセル等が発生したが、指導員等の空いた時間を有効活用し施設・設備点検を実施し、対応が可能な小規模修繕を実施した。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、概ね適正に執行されている。 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、利用のキャンセルや延期等が多く発生したが、きめ細かい対応をしておき、施設の努力がうかがえる。引き続き、子どもたちが安心して利用できるよう、利用者寄り添ったきめ細かい対応を期待する。 施設の老朽化のため修繕を要する箇所が多くなるが、日頃から職員が安全確保や快適な利用環境の提供を意識し、施設・設備の状態を把握したうえで、修繕が必要な場合には迅速な対応に努めるよう指示した。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、これからも適正に行うよう努める。 ガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染症対策をこれからも行うとともに、引き続き、子どもたちが安心して利用できるよう、利用者寄り添ったきめ細かい対応を行えるよう創意工夫をする。 利用者の減少により指導員等の空いた時間を有効活用し、施設環境の改善、小規模修繕の実施を進める。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



所長	1 人
リーダー	1 人
臨時職員(指導員)	2 人
臨時職員(指導員補助)	4 人
合計	8 人